【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和８年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	伊万里市立大坪小学校

1　前年度評価結果の概要	・学習状況調査の結果から、考えたことを分かりやすく書いたり説明したりする力を身に付けさせる必要がある。基礎基本を定着させる学習については、継続した指導を行っていきたい。 ・いじめ防止、不登校状態の解消については、普段の学校生活をしっかりと見取っていくとともに、児童との相談活動や保護者との情報共有を深め、関連機関との連携も継続しながら対応していきたい。 ・市の秋祭りブラスバンド演奏や大坪地区のふれあいまつりに鼓笛隊が参加、「おはなしや」の読み語りなど、地域の方々とつながる機会が多くあった。地域の中の学校として、地域学校協働推進委員とも連携しながら、今後も地域学習に力を入れたい。
2　学校教育目標	**確かな学力を身に付け、心身ともに健やかで、自分のよさを高めていく児童を育成する**
3　本年度の重点目標	①主体的・対話的・深い学びの実現とともに、読解力、表現力（「根拠を示して過不足なく」説明できること）の育成を図る。 ②児童同士が良さを互いに自覚し合える学級集団づくりを行い、自己肯定感を高める取組を行う。達成感を感じる学校行事や体験活動の充実（‘地域との連携）を図る。 ③学校周辺施設を用いての学習活動の設定、市の行事への参加などを通して、地域の良さを体感することができる学習の充実を図る。

4　重点取組内容・成果指標　／　**中間評価**　／　**5　最終評価**

(1)共通評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標（数値目標）		進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○算数科の基礎学力を向上させる児童の育成を目指した授業改善	○算数科において行う市販テストにおける正答率が、「知識・技能」の観点で全学年85%、「思考力・判断力・表現力」の観点で低中学年80%、高学年70%以上。	・単元計画に「理解の場」「思考の場」「習熟の場」を位置づける。問題を適切に読み取り、整理し、根拠をもって考えを説明し合う学習過程を意図的に設定する。		・		・		・	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳の授業の振り返りや記述において、肯定的に捉える感想をもった児童が80%以上。	・「いのちの教育指導資料」「伊万里っ子しぐさ」「童謡歌集」を活用する。 ・全校でテーマを設定し、人権教室を学年ごとに実施する。		・		・		・	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等（事案対処等）について早期に組織的対応ができていると回答した教員80%以上。	・定期的に「心のアンケート」を実施し、早期発見に努める。 ・保護者、担任、生徒指導主任、教育相談担当、級外などの連携を密にし、組織としての支援を充実させる。 ・学校いじめ対策委員会において、支援の具体的方法について話し合う。		・		・		・	
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・学校行事（体育大会や修学旅行等）や発表会（伊万里秋祭りや公民館祭り等）などを通じて、個人で目標をもたせ、それをバックアップすることで成功体験を積ませる。		・		・		・	
●健康・体つくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童生徒の交通事故を0（ゼロ）にする ・「廊下を走っていない」の質問に肯定的な回答した児童80%以上。	●交通教室を行い、道路の歩き方や渡り方、自転車の安全な乗り方について指導を行う。 各学級で、寄り道をしないで通学路を帰るように指導をする。交通安全について、全校朝会などで話をする。 ・走った場合は歩き直しをさせるなど、全職員で廊下歩行についての指導を行う。生活のきまりチェック週間で、廊下歩行についての意識を高める。廊下歩行が良かったクラスを放送で紹介する。		・		・		・	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・定時退勤日、学校閉庁日を設定する。 ・行事や会議を精選し、児童下校後、教材研究や事務業務を行う時間を確保する。 ・育友会担当業務から所属職員をできるだけ外し、夜の会合には参加しなくてよいようにする。		・		・		・	
●特別支援教育の充実	○児童の実態に即した具体的な支援の内容・方法の策定	○児童の実態に即した具体的な支援を行い、よりよい学校生活への適応を図る。	・特別支援教育に関する研修会を計画的に実施する。 ・校内体制を整備し、ケース会議や校内支援委員会等で対応について協議・共通理解を図る。 ・児童の特性を理解し、困りごとを解決できるよう支援をしたり、個に応じた指導を行ったりする。				・		・	

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標（数値目標）		進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言	
○学年・学級経営の充実	○児童が主体となって築いていく学年・学級経営の充実	○学年や学級において、自分の考えを伝えることができる、グループ活動などを通じて協働することができる児童が、いずれも80%以上。	・学年朝会、学級の朝の時間等の充実を図り、発言するなど意見を言うことができる場を設定する。 ・校内ミニ研修会、QUテストを実施するだけでなく、校内研修において外部より講師を招聘し、教職員の見識を深める。		・		・		・	
○「ふるさと学習」の充実	○地域の良さを体感できる学習の充実	○市内（町内）に存在する社会教育施設や優れた教育資源を活用し、ふるさと伊万里（大坪町）を誇りに思う児童の割合を前年度より高める。	・地域に関わることに関心を高めるよう、地域の教育資源を活用した学習を設定する。 ・地域の祭りや伝統、地域の偉人からの学び、鼓笛隊などの活動の充実。		・		・		・	

●…県共通　○…学校独自　◎…志と誇りを高める教育

5　総合評価・次年度への展望	・ ・ ・